

後一時より園児及修了兒よりなる唱歌會開かれ、先づ現在園児下組より始まりて順次修了兒に及び第十回より第一回に至る各組の合唱ありまして同三時閉會致しました。當日の式典は其形式に於ては不完全であつたでせうが下は尋常一學年より中學校、女學校四學年に至るの修了兒年長の差こそあれ何れも幼な時代の面持ちにて悦びに満ちる様場内にたゞよふ空氣も暖かに、實に自分にはすべてを忘れ世の何物にも立まさる悦びと満足とを覺ゆると共に此の世に生れてより又なき程の悦びかと思はれました。希くは彼等は今後充分なる發達を遂ぐると同時に、うらゝかなる幼な心を何時々迄も持たれたらしく心から祈りました。尙當時の祝意を添へんがため一室には第一回修了兒より第十回兒に渡りての各自思ひの出品にかかる成績品を陳列し、且つ一回毎に在園時代に於ける寫眞及書き方貼紙等を併せ陳列し、別室には在園児の手工或は保姆の考案道具其他十週年の思出でとなるべき材料をも陳列致しました。

○編輯室より

○日本幼稚園協會幹事會の決議により、本誌定價も愈々来る三月號から別項の如く、値上げするの止むを得ざるに至りました。定價改正と共に、頁數も幾分増加いたし、内容の充實をばかりないと存じます、何分從來の定價では、たゞ消極的になる外致し方がありませんでした。

何卒謹讀の諸君には事情御諒察の上益々本誌のために御援助下さる様願ます。

○本號は豫告もせずに發行日を遅延させました。實は印刷所變向その他の事情で急に斯うなりました。爾後發行日は十五日と變りましたから何卒左様御承知を願ります。

○前號にも申上ました通り本號は各地から御送り下さいました「我園の一日」をもつて大體を飾る事に致しました。御寄稿頂いた全部を本號に掲載の筈の所紙面の都合にてまだ次第に續く事になりました。お互に各地の保育振りを拜見する事は幸と存じます。尙會からは一々お願ひ申上ませんけれど共何卒この様な通信を盛に御寄せ下さいまし。本誌は喜んで御紹介申上ます。

「ヘルベル」の「わが幼時」は休載いたしましたが、次號には掲載完了の筈です。

○流行感冒が暴威を逞しくして居ります。皆様の御自愛を祈ります。